

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 4 日（日） 9：57～12：00

場 所：日出生活館

出席者：18 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
※日出連合町内会長挨拶
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談・質疑応答
5. 閉会

《懇談会内容》

質疑：高齢者の除排雪の問題で、説明のあった「官民協働」とはどのようなものか？日出地区は、高齢者のみ世帯も多く苦勞している。

福祉課：現在の除雪サービス事業においても、70 歳以上世帯は、助成対象としている。官民協働の点でいえば、町が実施している除雪サービスが官、町内会が実施している愛ラブボランティア事業による除雪などが民となる。町の除雪サービス事業も、除雪事業者が利用者の除雪時間指定をこなせないなど、対応困難なケースも出てきている。今年、来年にかけて他の先進地の事例なども参考にしながら、検討していきたい。

町長：私が公約に掲げた意図であるが、今すぐにということではなく、10 年、20 年先を見据えた除雪の仕組みづくりが必要という考えである。

質疑：角田鉦の除雪の関係、事業者（ニチナン）が撤退すると聞いているが、その後も除雪はするのか。

建設課：ニチナンの話は聞いていないが、民家があるうちは除雪する。

意見：空き家の問題で、日出にも旧井沢商店など大きな建物が 20 年以上放置されている。景観や危険性の観点から、行政の強制的な対策をとってもらいたい。

建設課：現在、全町の空き家は 250 件～260 件程度を把握。このうち日出地区のデータは現在手元にない。本町では、すでに条例を制定しており管理の悪い空き家は文書で通知している。特定空き家は 11 件、うち 2 件は解体した。しかし、所有者の解体費用の問題や相続の問題など進まない場合もある。最終的には、行政が代執行で解体し、費用を所有者に請求する制度である。

質疑：日出の消防団の自動車が古くなっている。将来、継立の分団と統合になると聞いているが

どうか。現在、団員が１２人でうち半分も地域に住んでいない。消防署長からは、このような状況で実際の火災時の稼働も鑑み、継立第３分団との統合も検討していくという話があった。

副町長：日出の分団が継立と統合になるという話は、聞いていない。地域が話し合いで決めていくことであるので、行政でどうするというものではない。

質疑：新規就農の状況を知りたい。

産業振興課：ここ５年の新規就農者１１組のうち２組が日出地区で就農。来年就農予定が２組いるが、日出地区ではない。新規就農の取り組みであるが、毎年２００人程度の方と面談し、うち就農まで至る方が２組程度である。今後も引き続き新規就農者確保に向け、取り組んでいく。

提言：日赤の診療科で皮膚科が週１回などとなっているが、皮膚科や耳鼻科などは個人病院（診療所）の先生にきていただくようなことも必要と考える。

町長：個人病院の誘致なども含め、さまざまな検討を進めたい。

提言：人口減少は、栗山だけの問題ではない。今後はいかに特色を出して、減少率を抑制していくかが重要と考える。

町長：人口減少問題の特効薬はないものである。まちの地力が重要となる。そのために必要なことは次の３点になる。１点目は農、商、工の経済活動が地域内で循環していくこと。２点目はまちの強み（立地、オオムラサキをはじめとした自然環境、福祉のまちブランド）などを生かし、交流人口を増やすこと、そこから定住人口へ繋げていくこと。３点目は今後、人口減少に伴いこれまでの右肩上がりの施策から、規模を縮小していく選択を迫られるが、どこに重点を置いていくのかという問題がある。これからは、子育て施策に重点化していく必要があると思っている。

要望：２点要望したい。１点目はシカ対策で、角田鉦沿線農地のフェンスが傾いている場所がある。新規就農の方も個人の費用で対策をしていたが、限界もあったようである。基本的な対策をしっかりとしてほしい。２点目は日出生活館の設備の中で、使い勝手の悪いものがある。特に台所の流し台は検討してほしい。

産業振興課：エゾシカ対策のシカ柵修繕補助などもあるが、１１月１４日に予定している農業振興公社の懇談会などでも、農業者と十分協議していきたい。

福祉課：日出生活館の設備や修繕の関係は、これまでも、毎年度協議してきている。予算の関係もあるので、今後も協議しながら対応できるものは、対応していきたい。

要望：ＮＴＴの光回線設置の関係で、８月にＮＴＴ東日本の説明会があったが、日出地区は設置の目安となる利用件数が少ない状況である。情報弱者を生まない対策を総務省なども含め対応願いたい。

総務課：状況、経過は把握している。情報弱者が出てしまわないよう、町としても対応をしていく。